

# だんだん石

岩石名 超苦鉄質沈積岩：Banded ultramafic rock  
(ちょうくてつしつちんせきがん)

時代 中生代ジュラ紀

地質区分 幌加内オフィオライト

産出地 士別市温根別マムシ沢



## 解説

### 地下深くから来た岩石

士別市温根別の地元の人たちは、この石のことを「だんだん石」と呼んでいます。縞模様というよりはでこぼこの段差があり、その名の通りの姿をしています。

かんらん石や輝石が層状になっている岩石で、「超苦鉄質沈積岩」というものです。

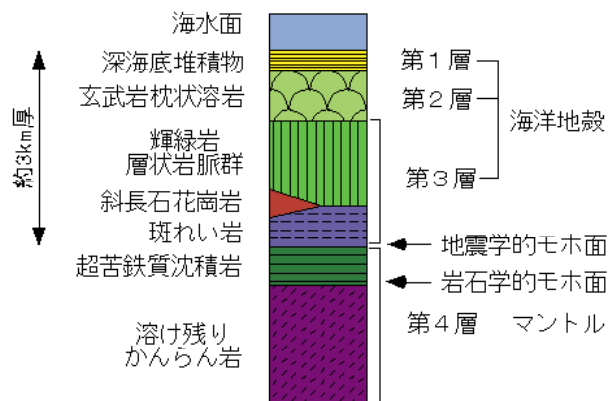
オフィオライトの層状斑れい岩よりもさらに深部の、マントルと海洋地殻の境界付近の「モホロビッチの不連続面（モホ面）」とよばれているゾーンにあるはずの岩石です（右図）。そんなに深いところにある岩石が地上にあるとは驚きですね。表面が茶色の鉄さび色で、見た目は実に地味な岩石ですが、実はそんな“実力”を持った士別を代表する石のひとつであり、世界的にも珍しい岩石です。



白山公民館の“だんだん石”

温根別の白山公民館（旧白山小学校）の庭先には、大きな「だんだん石」が置かれています。

### オフィオライトの火成層序と海洋地殻の層状構造



※東北大学 石渡 明氏HPより

### 調べてみよう

○ バンドごとの鉱物のちがいをルーペで見よう。